マイボイスの読み上げは後から自分たちで調整することができます。

マイボイスをインストールすると

がデスクトップにできています。これをクリックっしてください。

すると



が出てきます。

以下の調整で少しでも数字の値やチェエクを変えた場合

画面左上の「操作」をクリックし「オプションファイル名」を名前をつけて保存してください。

そして、「MyVoice実行用に保存」をクリックすることで初めてHeartyLadderに生かされます

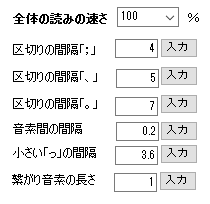
調整の基本



タブでそれぞれ調整することができます。

「読みの間隔」タブでの調整

読み上げスピードや、間の取り方などを変えることができます。



全体の読みの速さ…これを短くすると読み上げの速度は速くなります。

ここの調節で早口やゆっくり発声の読み上げになり、ここの数字を自分好みにするだけでもじゅうぶんです。

例

６０％にすると、もとの読み（１００％）を、6割の時間で読み上げるので「早く」なります。

１５０％にすると、もとの読みを、1.5倍の時間で読み上げるので「ゆっくり」になります。

区切りの間隔…節目節目に入る無音の長さを指定できます。

「；」は句読点以外のちょっとしたマス開けでの無音の長さ

「、」「。」は句読点での無音の長さ

を指定できます。

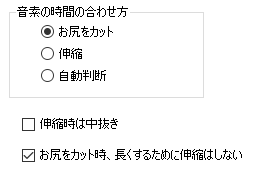
音素間の間隔…「こんにちは」は「こ」「ん」「に」「ち」…となりますが、この「　」と「　」の間の長さです。ただし、「子音」と「母音」、「子音」と「ん」の間などは別に指定できます。

小さい「っ」の間隔…「破裂音（っ）」は無音で表現しています（サ行の前はサ行の子音）。

この無音の長さを指定します。

各音素を文章の形で発話に使うときに、長さを調整してつなぎあわせます。

**音素の時間の合わせ方：**



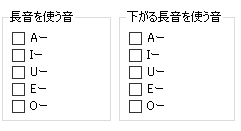
お尻をカット：各音素を指定時間で頭から切り出してつなぐ

伸縮　：　各音素を指定時間に伸縮してつなぐ

自動判断：録音されている音素の長さが指定時間に達しないものを自動で判断して伸縮

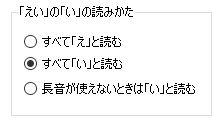
その他の調整

長音（伸ばす）を使うのか使わないのかは、どの母音の長音かで選べます。



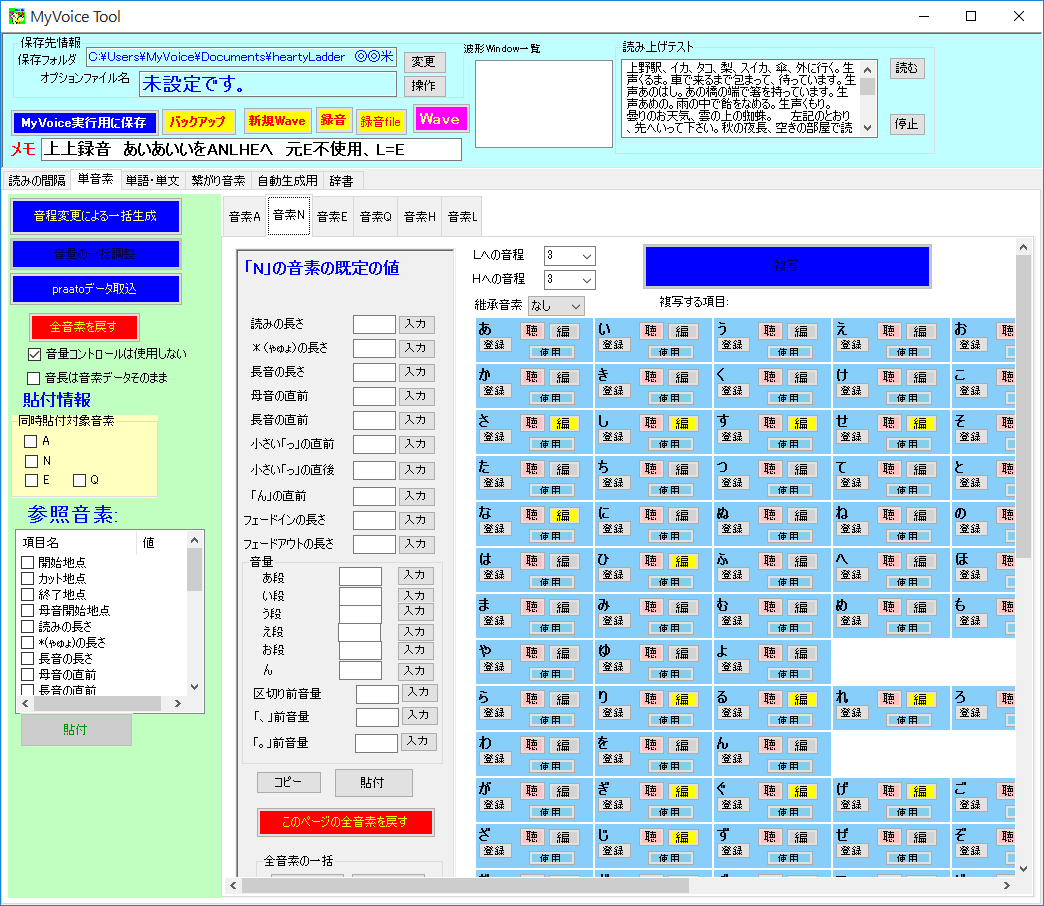
（チェックを入れなければ「東京」は「とおきょおと」になります）

（「とーきょーと」と聞き比べて好きなほう、あうほうをお選びください）

「英語」を「ええご」と読む人、「えいご」と読む人でそれぞれにあわせてチャックを入れます。

解説）

1音1音（単音素）ごとの調整

５つの音素について

A　出だしの1音

N　2文字目以降の1音

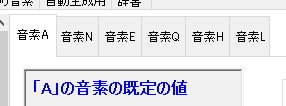
E　語尾、文末の1音

Q　疑問符の前の1音

（基本ANEQは実際の発声から採取）

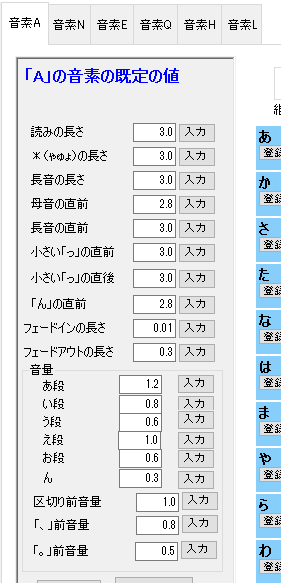
HとL 日本語アクセントを示すために音程を低め（L）高め（H）にソフトで調整する場合と、実際の発声から採取して配置する場合があります。

例）人間学＝にんげんがく＝「にA」「んN」「げH」「んL」「がL」「くEまたはL」



　5つの各音素について個別タブで開くことで指定できます。

ここではA音素についての調整です。



読みの長さ　：「A」の各音素の読みの長さ（尻切り：使う音素時間　伸縮：拡縮する時間）

長音の長さ：使われる長音の長さ（「豆腐（トーフ）」における「－」の長さ）

母音の直前： 母音の前の音素の長さ（会計（かいけい）の「か」「け」の長さ）

長音の直前：「－」の前の音素の長さ（方向（ほーこー）の「ほ」「こ」の長さ）

小さい「っ」の直前、小さい「っ」の直後：「っ」の前と後ろの音の長さ（「キャット」の「きゃ」と「と」の長さ）

「ん」の直前：「ん」の前の音素長（新幹線（しんかんせん）の「し」「か」「せ」の長さ）

フェードイン　アウトについては割愛

NEQHLの各音素についてもA音素と同様に指定＆調整することができます。

何も値を入れずに空欄にしておくと、タブ左側の音素（NならA、EならN…）の数値が使われます。

実際のその人の発話の特徴を反映させてください。

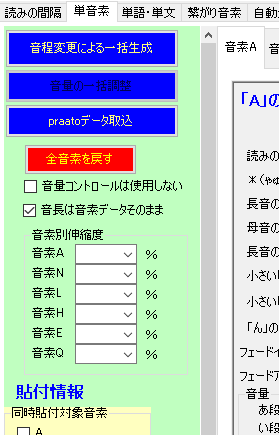
「でもね」を「で、も、ね」と区切って発音する人には、音素間の間隔を長めに。

「尻切り」は実際の音をその頭から切り出してつなげるもので、例えば録音した音が

「かー、きっ、くぅ、けぇー、こっ」「さー、しっ、すぅ、せー、そっ」だとした場合、

「失格隠し、少しせかす」という文で発話させるばあい

「しっ」「無音（っ）」「かー」「くぅ」「かー」「くぅ」「しっ」「すぅ」「こっ」「しっ」「せー」「かー」「すぅ」となりますが、各音素の頭からの指定時間を切り出して（尻切り）、あるいは各音素を指定時間に伸縮して、つなげることで「しっかくかくし、すこしせかす」となります。

◎しかしながら、

単音素タブで「音長は音素データそのまま」にチェックを入れると、各音素がすべてそのまま使われます。もともと各音素の長さがほぼそろっている方や、そのまま使ったほうがその人らしく聞こえる場合は、あえて、この方法を使うことをお勧めします。

音素別伸縮度

各音素ごとに長さを指定することができます。もし、特定の音素が皆短かい場合、これでバランスをとることができます。

（これは「音長は音素データそのまま」の時のみ有効です）